



クズザンポーラ！（ゾンカ語；こんにちは）日本も随分涼しくなってきた頃でしょうか。ブータンでは、標高の高い所だと降雪があり、温暖で有名な私の任地でも、ひんやりとした空気に包まれるようになりました。水田では稲の収穫も始まっています。

見事な棚田が広がるパロ県ボンデー



## 平成26年8月～平成26年10月の出来事

● 8月6日 ●

広島では、平和祈念式典が始まる8月6日の朝、大学の朝礼の時間を利用して、原爆投下について話をさせていただく機会を設けました。講話では、この日発表された平和宣言の一部を引用させていただきました。



↑ 図書館の展示物

私が広島から来た、ということで、多くのブータンの皆さんから原爆について聞かれ、中には「広島には木が生えているのか？」などといった少しびっくりするような質問もありました。そこで、今回は広島への原爆投下について正しい認識を持ってもらい、改めてこの兵器について考えるよい機会となるよう、図書館に原爆に関する展示物をブータン人同僚と一緒に用意しました。展示には多くの学生が訪れ、たくさんのコメントを残してくれました。

## ● 世界の笑顔のために ●

JICAによる「世界の笑顔のために」プログラムを通して、9月17日に庄原実業高校からたくさんのスポーツアイテムが届きました！！このプログラムは、開発途上国で必要とされている、スポーツ、文化、教育、福祉などの関連物品のご提供者を日本国内で募集し、JICAが派遣中のボランティアを通じ、世界各地へ届けるプログラムです。

### 贈呈式の様子



毎週水曜日に行われる全校朝礼のなかで、JICAブータン事務所の朝熊所長をお招きして贈呈式が行われました。式は、大学の学長、朝熊所長のスピーチから始まり、生徒代表への贈呈式、目録の贈呈があり、最後に、庄原実業高校池田克郎校長先生よりいただいた手紙を拝読しました。手紙は、私が日本語で、生徒のソナムさんが英語版を交互に読み上げて、学生たちも興味しんしんでした。朝礼の直後から、ボールを管理する舎監長の部屋には、学生たちが早速大挙したとか！？庄原実業高校の皆様、本当にありがとうございました。この贈呈式の様子はDVDに収められ、庄原実業高校へ感謝状とともに送られました。



## ● 加工品販売 ●

10月、今学期の実習で製造した加工品を、農業省の支援のもと、首都ティンブーで販売開始することができました。どの加工品も、添加物は使わず、身の回りにあるものでシンプルに製造しています。今後これらの加工品を参考に、余剰生産物のよい活用につながってくれたら、と思います。



↑首都で販売中のジャムと漬物。